

加古川・揖保川減災対策協議会の 取組目標（R3～R7）に基づく これまでの取組結果

目標（R3～R7）に基づく令和7年度時点での取組状況

減災対策協議会の取組

- 加古川減災対策協議会、揖保川減災対策協議会の構成員（市町）へ以下の取組内容のフォローアップアンケート及びヒアリングを実施

1) ハード対策の主な取組

洪水を河川内で安全に流す対策・水防活動に資する基盤等の整備・流域における対策

2) ソフト対策の主な取組

①意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取組

想定される浸水リスクの周知・避難指示等の発令について・避難場所、避難経路について・住民等への情報伝達の体制や方法について・避難誘導體制について・避難に関する啓発活動について

②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組

水防体制・河川水位等に係る情報の提供・水防資機材の整備状況

③一刻も早く日常生活を回復するための取組

氾濫水の排水

今後の展開

- 現在の取り組みは令和7年度を目標としているため、これまでの取組状況、および社会情勢等を考慮して次期取組方針（R8～R12）を策定し、構成機関がより一層、連携・協力を行い、推進する。

■加古川減災対策協議会の取組目標(R3～R7)に基づく取組結果

【凡例】 ○:取組対象 ー:取組対象外
●:実施中・実施済み

【関連法(取り組み義務がある項目を記載)】
①:河川法 ②:水防法 ③:災害対策基本法

※気:気象情報提供者、河管:河川管理者

項目	取組機関								関連法	
	気※	河管※	流域関係機関							
	気象庁	姫路河川	兵庫県	加古川市	高砂市	小野市	加東市	鉄道事業者		
1)ハード対策の主な取組										
洪水を河川内で安全に流す対策										
1	堤防整備	－	●	－	－	－	－	－	①	
2	河道掘削	－	●	－	－	－	－	－	①	
3	質的対策（堤防の浸透、侵食、洗掘対策）	－	●	－	－	－	－	－	①	
水防活動に資する基盤等の整備										
4	水防拠点となる施設の整備検討	－	●	－	－	－	●	●	－	②
流域における対策										
5	集水域や氾濫域での対策	－	－	●	●	●	●	●	－	－
2)ソフト対策の主な取組 ①意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取組										
想定される浸水リスクの周知										
6	想定最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの周知	－	●	●	●	●	－	－	－	②
7	地域住民及び学校等への水災害教育の実施	●	●	－	●	●	●	●	－	③
8	住民の危機意識向上のための施策等を検討改善	－	●	－	●	●	●	●	－	－
9	想定最大規模洪水を対象とした浸水CGの作成・活用	－	●	●	●	●	●	●	○	－
10	想定最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの更新・周知	－	●	●	●	●	●	●	●	－
11	水害リスク空白域の解消	－	－	●	●	●	●	●	－	－
避難指示等の発令について										
12	タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討	●	●	●	●	●	●	●	●	－
13	避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し	－	●	○	－	●	●	●	－	②
避難場所、避難経路について										
14	広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の更新	－	○	○	●	●	○	○	●	②
15	地域防災計画の更新	－	●	●	●	●	●	●	－	②
16	民間施設等を活用した緊急的な避難先の検討	－	－	○	●	●	●	●	－	－
住民等への情報伝達の体制や方法について										
17	協議会参加機関のホームページ等を活用した、浸水想定区域や避難行動に係る情報等の提供	●	●	●	●	●	●	●	●	－
18	発表対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討・周知	●	●	－	●	●	●	●	－	②
19	避難情報提供ツールの整備及び住民への周知	●	●	－	●	●	●	●	●	－
20	リアルタイム洪水情報の活用及び住民への周知	●	●	－	●	●	●	●	●	－

■加古川減災対策協議会の取組目標(R3～R7)に基づく取組結果

【凡例】 ○:取組対象 ー:取組対象外
●:実施中・実施済み

【関連法(取り組み義務がある項目を記載)】
①:河川法 ②:水防法 ③:災害対策基本法

項目			※気:気象情報提供者、河管:河川管理者 取組機関								関連法		
			気※	河管※		流域関係機関							
			気象庁	姫路河川	兵庫県		加古川市	高砂市	小野市	加東市		鉄道事業者	
		21	スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信・普及	●	●	－	●	●	●	●	－	－	
		22	外国語に対応した情報提供の実施	●	●	－	●	●	●	●	－	③	
	避難誘導体制について												
		23	「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」・「自主避難できる住民」の育成(防災リーダー等)	－	●	－	●	●	●	●	－	－	
		24	避難行動要支援者に対する、避難方法等の個別計画の作成	－	●	－	●	●	●	●	－	③	
		25	避難行動要支援者に係る地域の共助力の向上	－	●	－	●	●	●	●	－	－	
		26	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進	－	●	－	●	●	●	●	－	②	
	避難に関する啓発活動について												
		27	水害を想定した避難訓練、避難所運営訓練の実施	－	●	－	●	●	●	●	－	－	
		28	想定最大規模洪水又は計画規模洪水を対象としたマイ防災マップ等の更新、作成	－	●	●		●	●	●	－	－	
		29	関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施	●	●	－	●	●	●	●	○	－	
	2)ソフト対策の主な取組 ②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組												
	水防体制												
		30	若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施	－	●	－	○	●	●	●	●	－	－
		31	重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表	－	●	●		－	－	－	－	－	
		32	関係者による重要水防箇所等の共同点検を実施	－	●	●		●	●	●	－	－	
		33	溜め池の決壊や内水氾濫、想定最大規模洪水等を踏まえた避難体制の整備	－	－	○		●	●	○	●	－	－
	河川水位等に係る情報の提供												
		34	洪水時のカメラ・水位計による堤防監視、施設監視の強化	－	●	●		●	－	●	－	●	－
		35	河川管理者による水位予測情報の提供	－	●	●		●	●	●	●	●	－
	水防資機材の整備状況												
		36	水防倉庫等の配置計画を再検討	－	●	○		●	●	●	●	－	②
	37	水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施	－	●	●		●	●	●	●	－	－	
2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早く日常生活を回復するための取組													
	氾濫水の排水												
		38	氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の見直し	－	●	－		●	●	●	●	－	－
		39	排水計画に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施	－	●	－		●	●	●	●	－	－

■揖保川減災対策協議会の取組目標(R3～R7)に基づく取組結果

【凡例】○:取組対象 ー:取組対象外
●:実施中・実施済み

【関連法(取り組み義務がある項目を記載)】
①:河川法 ②:水防法 ③:災害対策基本法

項目			※気:気象情報提供者、河管:河川管理者								関連法
			取組機関								
			気※	河管※		流域関係機関					
	気象庁	姫路河川	兵庫県		宍粟市	たつの市	姫路市	太子町	鉄道事業者		
1)ハード対策の主な取組											
洪水を河川内で安全に流す対策											
	1	堤防整備		—	●	—	—	—	—	—	①
	2	河道掘削		—	●	—	—	—	—	—	①
	3	質的対策（堤防の浸透、侵食、洗掘対策、ダム再生）		—	●	●	—	—	—	—	①
水防活動に資する基盤等の整備											
	4	水防拠点となる施設の整備検討		—	●	—	—	—	—	●	②
流域における対策											
	5	集水域や氾濫域での対策		—	—	●	●	●	●	●	—
2)ソフト対策の主な取組 ①意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取組											
想定される浸水リスクの周知											
	6	想定最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの周知		—	●	●	—	—	—	—	②
	7	地域住民及び学校等への水災害教育の実施		●	●	—	●	●	●	●	③
	8	住民の危機意識向上のための施策等を検討改善		—	●	—	●	●	●	●	—
	9	想定最大規模洪水を対象とした浸水CGの作成・活用		—	●	●	○	●	○	○	—
	10	想定最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの更新・周知		—	●	●	●	●	●	●	—
	11	水害リスク空白域の解消		—	—	●	●	●	●	●	—
避難指示等の発令について											
	12	タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討		●	●	●	●	●	●	●	—
	13	避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し		—	●	○	○	●	●	○	②
避難場所、避難経路について											
	14	広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の更新		—	●	○	●	●	●	●	②
	15	地域防災計画の更新		—	●	●	●	●	●	●	②
	16	ダムの放流情報等に関する住民への情報提供		—	—	●	●	○	●	○	①
	17	民間施設等を活用した緊急的な避難先の検討		—	—	○	●	●	●	●	—
住民等への情報伝達の体制や方法について											
	18	協議会参加機関のホームページ等を活用した、浸水想定区域や避難行動に係る情報等の提供		●	●	●	●	●	●	●	—
	19	発表対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討・周知		●	●	—	○	○	●	○	②
	20	避難情報提供ツールの整備及び住民への周知		●	●	—	●	●	●	●	—

■揖保川減災対策協議会の取組目標(R3～R7)に基づく取組結果

【凡例】 ○:取組対象 ー:取組対象外
●:実施中・実施済み

【関連法(取り組み義務がある項目を記載)】
①:河川法 ②:水防法 ③:災害対策基本法

※気:気象情報提供者、河管:河川管理者

項目			取組機関								関連法	
			気※	河管※	流域関係機関							
			気象庁	姫路河川	兵庫県		宍粟市	たつの市	姫路市	太子町		鉄道事業者
	21	リアルタイム洪水情報の活用及び住民への周知	●	●	－	●	●	●	●	●	－	
	22	スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信・普及	●	●	－	●	●	●	●	●	－	
	23	外国語に対応した情報提供の実施	●	●	－	●	●	●	●	●	③	
	避難誘導体制について											
	24	「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」・「自主避難できる住民」の育成(防災リーダー等)	－	●	－	●	●	●	●	●	－	
	25	避難行動要支援者に対する、避難方法等の個別計画の作成	－	●	－	●	●	●	●	●	③	
	26	避難行動要支援者に係る地域の共助力の向上	－	●	－	●	●	●	●	●	－	
	27	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進	－	●	－	●	●	●	●	●	②	
	避難に関する啓発活動について											
	28	水害を想定した避難訓練、避難所運営訓練の実施	－	●	－	○	●	●	●	●	－	
	29	想定最大規模洪水又は計画規模洪水を対象としたマイ防災マップ等の更新、作成	－	●	－	●	●	●	●	●	－	
	30	関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施	●	●	－	●	●	●	●	●	○	
	2)ソフト対策の主な取組 ②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組											
	水防体制											
	31	若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施	－	●	－	○	●	●	●	●	－	－
32	重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表	－	●	●		－	－	－	－	－	－	
33	関係者による重要水防箇所等の共同点検を実施	－	●	●		●	●	●	●	－	－	
河川水位等に係る情報の提供												
34	洪水時のカメラ・水位計による堤防監視、施設監視の強化	－	●	－		－	－	－	－	－	－	
35	河川管理者による水位予測情報の提供	－	●	●		●	●	●	●	●	－	
水防資機材の整備状況												
36	水防倉庫等の配置計画を再検討	－	●	○		●	●	●	●	●	②	
37	水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施	－	●	●		●	●	●	●	●	②	
2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早く日常生活を回復するための取組												
氾濫水の排水												
38	氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の見直し	－	●	－		●	●	●	●	●	－	
39	排水計画に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施	－	●	－		●	●	●	●	●	－	

令和3年度～令和7年度の取組内容

【取組を実施した効果、成果】 各自治体の防災訓練の機会を活用し、浸水歩行体験、マイ・タイムライン講座等の水災害教育を実施し住民の意識の向上を図りました。また、加古川の河口部の河道掘削や、加古川大部・河合地区での水防拠点の検討、林田川営水位基準所での危険水位を見直しなどを行いました。

⑥⑦⑧ 防災教育の実施、
⑦⑪⑲ 水防訓練にて浸水歩行体験等の実施



高砂市水防訓練



加古川市総合防災訓練



宍粟市立神野小学校出前講座



小野市立大部小学校出前講座

⑦⑲ マイ・タイムライン講座の開催



太子町マイ・タイムライン講座

②河道掘削

加古川河口(高砂・尾上地区)

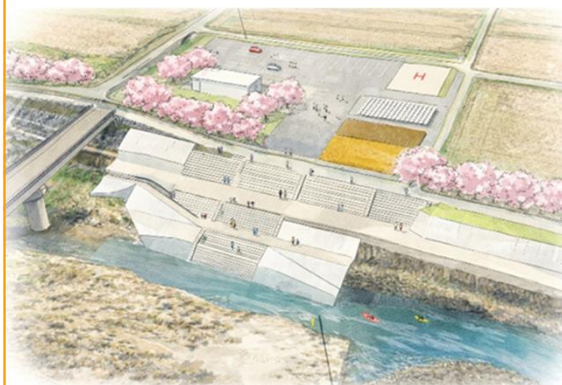


浚渫船に実際に乗船し、
船の上から見学しました。

高砂小学校 現場見学会



④水防拠点となる施設の整備検討



小野市大部・河合地区 MIZBEステーションの検討

⑬避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し



林田川営基準水位観測所 危険水位見直し

【取組を実施した効果、成果】 防災気象情報を改善し、自治体の防災活動の支援や、住民が避難判断を適切に行えるよう、適切に情報を発信しました。

加古川⑰⑱⑳ 揖保川⑳㉑㉒ 防災気象情報の改善の例

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【従来】
注意報・警報
(文章形式)



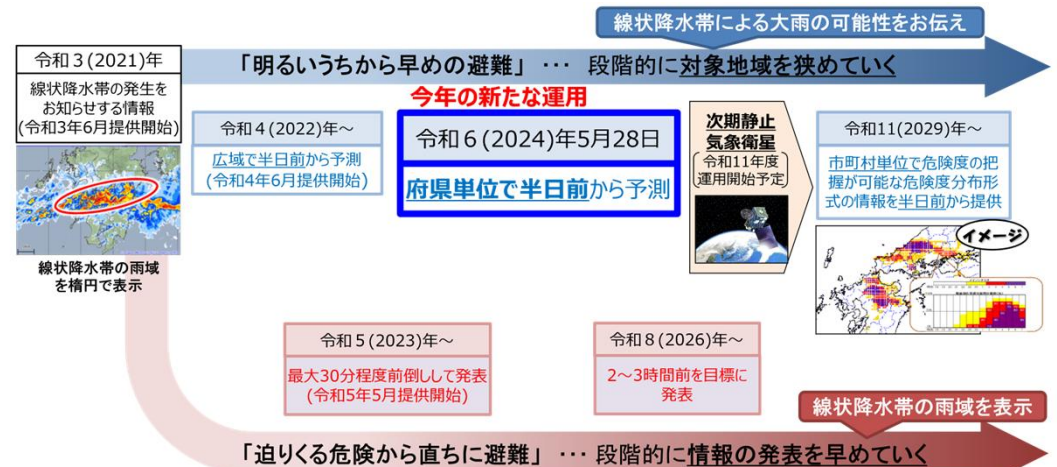
改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	今朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の 可能性	雨 中	—	—	中	高	—
	風 中	—	—	高	高	—

危険度分布(メッシュ情報)の充実

- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

【取組を実施した効果、成果】 小中学生や保護者、地域住民を対象とした地域防災スクールや出前講座など、防災知識の啓発や体験学習を実施し、加古川流域での地域防災力の強化を図りました。また、河川ライブカメラの画像を県や国土交通省のホームページ(川の防災情報)で見ることができるようになりました。

⑦③ジュニア・地域防災スクールの開催
⑩②⑦②⑧②⑨出前講座の開催



藤江小学校



伊保小学校



野口小学校



別府西小学校



川西小学校

②③兵庫県河川ライブカメラシステムのリニューアル



スマートフォンからもご覧になれます

⑦②⑨プロギングの実施
⑥⑦県広報での啓発、地域住民及び学校での水災害啓発の実施



模型展示→

【取組を実施した効果、成果】 PRや広報により計画を推進するため、イベントへの出展や、パンフレット配布、Instagramによる情報発信等により、イベント参加者や、実験を行ってくれた高校生にも大変好評で、総合治水の取り組みの普及啓発を行うことができました。

○イベントへの出展 ⑦、⑨

東播磨道 全線開通記念ウォーク

○実施日：令和7年9月28日(日)
○場 所：東播磨道 小野ランプ上
●東播工業高校(生徒5名＋先生1名)
○参加人数：1,000人



はりちゅうの日

○実施日：令和7年11月16日(日)
○場 所：県立播磨中央公園
●篠山産業高校(生徒5名＋先生1名)
○参加人数：12,000人



○Instagram(令和7年6月投稿) ⑥、⑩、⑫

若者にも関心を持ってもらえるように、豪雨災害を怪獣に見立てた防災啓発ポスターをInstagramにより周知



○総合治水のパンフレット(R7作成) ⑥、⑩、⑫

R6地域総合治水推進協議会を開催。加古川流域の総合治水の取り組みを分かり易くしたパンフレットを作成しイベント等で配布



○マイ・タイムライン講座を開催 ⑫

西脇市と協力して、マイ・タイムライン作成講座を令和7年1月26日に開催



【取組を実施した効果、成果】 公共施設への想定浸水深表示の設置や土砂災害警戒区域等を明示した啓発看板の設置により、災害リスクの見える化を推進しました。

⑧想定浸水深表示の設置



【施工場所】

浸水想定のある市内公民館(7施設)

【デザイン】

左記のとおり。

施設ごとの想定浸水深を図示。



加古川公民館



尾上公民館



加古川北公民館



加古川西公民館

⑧土砂災害警戒区域等を明示した啓発看板を設置

設置場所：たんようウェルネスパーク（加古川ウェルネスパーク）

令和7年度「土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等を明示した看板の整備事業」（宝くじ助成事業）を活用し啓発看板を設置



【取組を実施した効果、成果】 マイ避難カードや個別避難計画の作成、災害情報伝達の工夫を通じて、市民、外国人住民や避難行動要支援者が自らの避難行動を具体的に考えるきっかけとなり、災害時の避難行動への意識が向上しました。

マイ避難カードの普及啓発

⑦⑧⑬⑲⑳

マイ避難カード

〈浸水想定〉  〈土砂災害〉 

1 自宅の危険度まとめ

計画規模降雨	想定最大規模降雨	あり	なし
--------	----------	----	----

2

	避難行動 1	避難行動 2
いつ 避難スイッチ 何がどうなった？		
どこに 行先は？		
どうやって 誰と？何を？		

発行 令和3年 3月 高砂市企画総務部危機管理室 〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号 TEL 079-443-9008

外国人に対応した情報提供

⑧⑳㉓



避難行動要支援者支援

㉔㉓



【取組を実施した効果、成果】 主なハード事業として防災・減災・水防活動の拠点づくりとしてMIZBE(ミズベ)ステーションの整備を行っています。また、地域教育防災訓練や避難訓練をはじめとした地域が主体となった防災訓練の実施、個別避難計画の作成促進を実施し、地域住民の意識改革と自主防災組織の強化を図りました。

④MIZBE(ミズベ)ステーションの整備【ハード対策】

【整備内容】

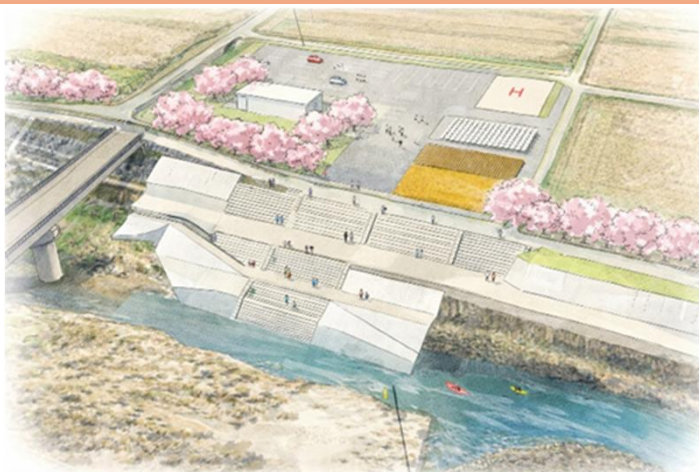
- ・防災公園
- ・交流施設
- ・ヘリポート
- ・備蓄資材置場
- ・作業ヤード 等

【整備規模】

- ・約7,700㎡

【整備計画】

- R9 施設登録
- R10～11 造成工事
- R10～12 建物整備



⑦賑わい創出の拠点づくり（カヌー川下り体験、桜づつみウォーク等）【ソフト対策】



R6～R7カヌー川下り体験



R3～R7桜づつみウォーク



R4. 6水生生物調査

⑦⑧⑬地域教育防災訓練の実施【ソフト対策】

R7小野東小学校



R5下東条小学校



R6市場小学校



⑪⑬⑭⑮⑰地域住民への水害教育及び避難行動要支援者に係る地域の共助力の向上【ソフト対策】

個別避難計画のための個別訪問



避難所開設訓練



避難訓練



避難行動要支援者の参加



【取組を実施した効果、成果】 防災訓練や防災講話の機会を用い、市民の方への防災教育やマイタイムライン作成講座を実施しました。各種イベントで若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施しました。また、関係機関との合同樋門点検を実施するなど関係機関との連携の強化に取り組みました。

⑥⑦⑧ 防災教育の実施
マイ・タイムライン講座の開催



③⑨ 複数の機関との合同樋門点検



③⑩ 若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動



【取組を実施した効果、成果】

- 洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水の供給、発電を目的とした引原ダムの再生事業を推進しました。
- 兵庫県CGハザードマップサイトの運営や模型を用いた総合治水の啓発活動により、県民の防災意識を向上しました。

③ 引原ダム再生事業



事業効果

引原ダムは、昭和32年度の完成後、平成23年9月洪水時に初めてとなる異常洪水時防災操作を実施、平成30年7月洪水時にも同操作を相次いで行っていることから、治水容量の拡大等を行う「ダム再生」を実施し、異常洪水時防災操作の頻度低減を図る。

平成30年7月豪雨時の
引原川の状況



上野水位局付近の状況
右岸堤防高付近まで水位が上昇

平成30年7月豪雨時の
引原ダム放流状況



異常洪水時防災操作時
(H30. 7. 7 9:45頃)

⑥⑦⑨⑩ 兵庫県CGハザードマップサイト

- ・河川氾濫や土砂災害等の危険度、河川水位などのリアルタイム情報、過去の災害情報を一体的に提供する防災ポータルサイトとして運営。
- ・利用者意見を踏まえ、令和5年10月にサイトをリニューアルし、利便性を向上。



⑩ 模型を用いた総合治水の啓発活動

- ・防災フェスタなどのイベントにおいて、総合治水の取組をPR。
- ・令和7年度は、龍野北高等学校の生徒7人も参加。



天端自立浮揚式万年堤防模型



地下貯留設備



総合治水模型



龍野北高等学校生

【取組を実施した効果、成果】 小学生向け水災害教育を実施。水防上危険が予想される場所の現地踏査を実施。市民向けに「命のパスポート」作成の出前講座、地域防災に関するアドバイザーとして活動していただく人材育成講座を実施。災害発生時の対応訓練、防災フェア等を実施。外、防災講演会、避難確保計画説明会の実施、ハザードマップの更新及び配布等。

⑦⑩ 防災教育の実施。



○災害対策本部車・照明車の説明



○段ボールベッド組立体験



○揖保川マイクロモデル体験

取組を実施した効果、成果

○小学生に対して水災害教育を実施し、地域の災害リスクや災害時の行動を考えるきっかけを与えることができた。

③③ 水防上危険が予想される場所の合同現地踏査。



○水防上危険箇所(追谷上池)の確認



○市川の改修箇所の確認



○八家川の調整池整備箇所の確認

取組を実施した効果、成果

○防災関係機関と水災害リスクのある箇所を情報共有し、実際に確認することで災害発生時に備えることができる。

⑧④ 命のパスポート作成出前講座、ひめじ防災マイスター認定講座の実施。



○命のパスポートを作成する様子



○認定講座の様子

②⑧ 姫路市総合防災訓練・国民保護訓練及び防災フェア等。



○応急救護所開設・トリアージ訓練
(令和5年度:大手前公園)



○避難所開設・運営訓練
(令和4年度:エコパークあぼし)

【取組を実施した効果、成果】 流域治水の理念のもと、森林整備や田んぼダム等のハード事業と防災訓練や出前講座等のソフト対策を一体的に進め、災害に強いまちづくりと地域防災力の向上を図りました。

⑤森林整備・雨水排水施設の整備・田んぼダムの取組・ため池の治水活動



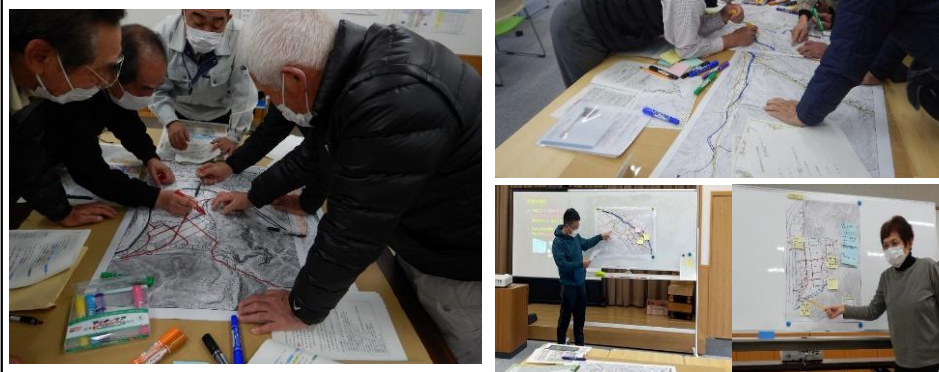
⑦⑭⑮⑯⑰⑱ 宍粟市総合防災訓練（毎年実施）



⑦出前講座（マイ避難カードの作成、ダンボールベッド体験等）



⑦⑩⑭⑲⑳自主防災マップの作成・更新



【取組を実施した効果、成果】 子ども防災学習や体験型防災イベントの実施など様々な年代に対しての防災教育を行った。
また、防災行政無線設備の更新や調整池・水位計通報装置の整備などを行った。

⑦⑨⑩子ども防災体験学習の開催



⑳㉑㉒防災行政無線設備等の更新



⑦⑧㉓市制施行20周年記念事業防災フェスタを開催

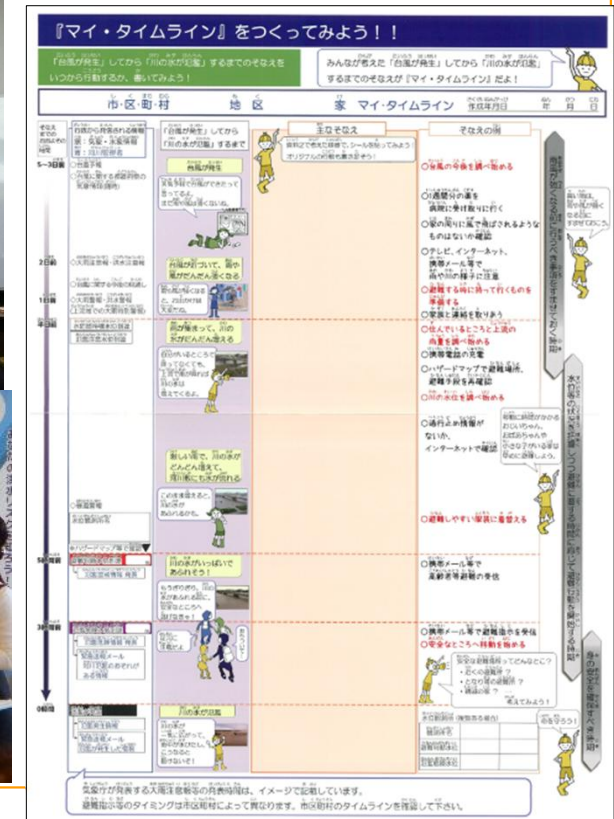


㉓排水樋門外水位計通報装置の設置、田んぼダムの設置、調整池の設置及び保全



【取組を実施した効果、成果】 姫路河川国道事務所と共同開催でマイ・タイムライン講座を実施しました。町民の水害対策意識の向上に繋がりました。

⑦②③⑩ マイ・タイムライン講座の開催



令和8年3月14日(土)午前中実施

【取組を実施した効果、成果】

- ・ 災害対策の取り組みをホームページで紹介しました。
- ・ 列車の計画運休を実施する場合は、タイムラインを準用して列車の運行に関する情報を各種ツールを活用して提供しています。

加古川⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

・ホームページでの災害対策取り組み紹介



主な輸送障害への対策と発生時の対応について：豪雨の場合

・各種ツールによる列車運行の情報提供

ホームページでの列車運行情報



公式X（旧Twitter）



WESTER（JR西日本統合型MaaSアプリ）



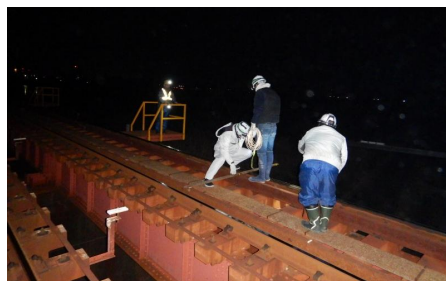
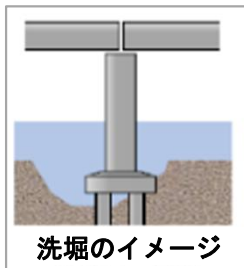
【取組を実施した効果、成果】 防災の基本方針策定、想定最大規模降雨に係る危険箇所・タイムラインの見直しを行いました。また、ソフト対策として安全報告書や沿線情報誌において、ハザードマップやキキクルを活用した運行規制・避難への活用についてお客さまに周知しました。

加古川橋梁の洗堀調査

激甚化する自然災害に伴い、異常出水による 河川橋梁の洗堀災害が頻発



加古川橋梁で洗堀調査を2年ごとに実施、河床状況を把握し、被災リスクに応じた対策



重錘法（錘を水中へ投下して深さを測定）による洗堀調査

「ソナー付きラジコンボートによる洗堀調査」



令和6年度～実施

安全報告書・沿線情報誌での情報発信



安全報告書(年1回)



山陽電車沿線情報誌エスコート(月刊)



エスコート2024年8月号より

【取組を実施した効果、成果】沿線に設置した雨量計・水位計・風向風速計・地震計により詳細な気象データを取得し、速やかに共有するシステムを構築するとともに、駅において運行情報を発信しました。

気象データを共有するシステム
(例：加古川橋梁において強風が発生)



駅に設置したモニターで運行情報を表示
(例：小野駅～栗生駅間で運転を見合わせ)

